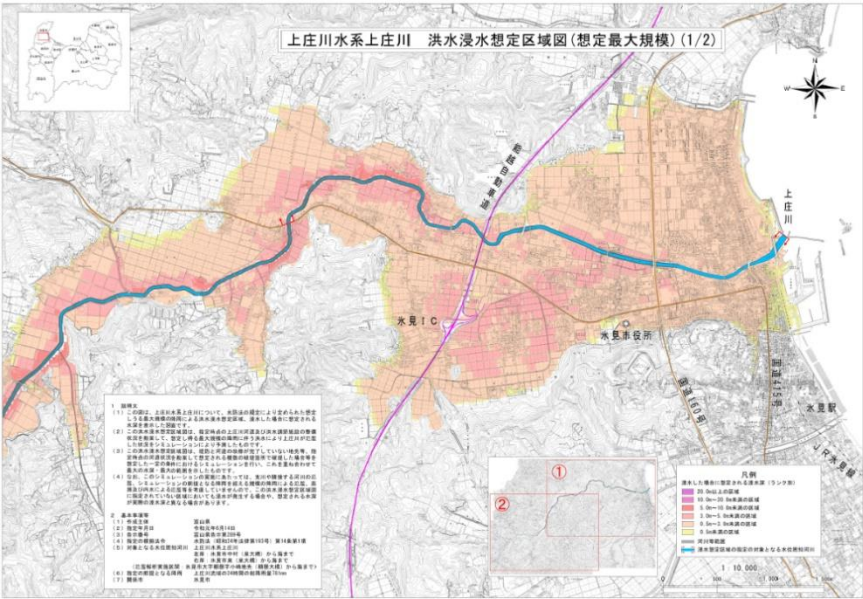


2期項目 No	Ⅳ 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	26 想定最大規模降雨による浸水想定区域図
2期 内容	水害リスク空白地を解消するため、中小河川における想定最大規模降雨による浸水想定区域図の作成およびハザードマップ作成支援
実施主体	富山県

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。上庄川水系の県管理河川については、令和7年中に公表する予定としています。

【取組実績】 令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
令和6年度～ 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施



参考例:上庄川(本川)(水位周知河川)
洪水浸水想定図(想定最大規模)



上庄川支流の河川(例:桑院川)

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組		
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)		
2期 内容	河川状況等ライブカメラ情報	実施主体	富山県

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP:「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



県HP「富山県河川海岸カメラ・水位情報」

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組		
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実(水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報)		
2期 内容	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス	実施主体	富山県

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】・配信開始日:令和6年6月21日

・配信の内容:受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。



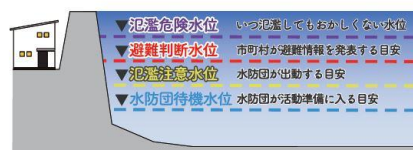
配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

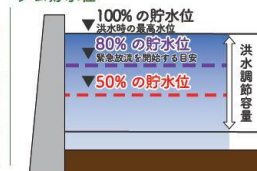
配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・氾濫危険水位 (レベル4) ・避難判断水位 (レベル3) ・緊急注意水位 (レベル2) ・水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・100%の貯水位 ・80%の貯水位 ・50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位



ダム貯水位



登録はこちら▶▶▶



以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

2期項目 No	I ①洪水を河川内で安全に流す対策
2期 カテゴリ	1 河道浚渫・河道掘削
2期 内容	河道内堆積土砂や樹木の計画的な撤去を推進
実施主体	富山県

洪水時の流下能力を確保するため、河道内に堆積した土砂の浚渫。

【実施概要】

- ・実施箇所: 堀田川、万尾川、上庄川、余川川、阿尾川、宇波川
- ・実施時期: H30～(R6実績: 赤)



河道浚渫実施前(上庄川)

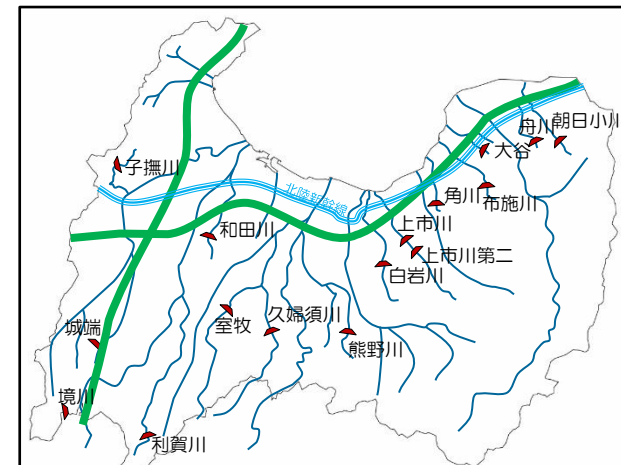


河道浚渫実施後(上庄川)

2期項目 No	I ①洪水を河川内で安全に流す対策
2期 カテゴリ	1 ダムによる洪水調節
2期 内容	堰堤改良の実施
実施主体	富山県

老朽化したダム施設の改良を、国の5ヵ年加速化対策予算等も活用し計画的に実施。

R7実施個所 室牧ダム、久婦須川ダム、熊野川ダム、
利賀川ダム、境川ダム、子撫川ダム、
上市川ダム、上市川第二ダム、
白岩川ダム、角川ダム



○ダム管理用制御処理設備の改良

ダム諸量データ処理やダム操作の確実性・信頼性向上につながる

施工前



5
か
年
加
速
化
対
策
予
算
の
活
用

施工後



(様式2-取組概要)

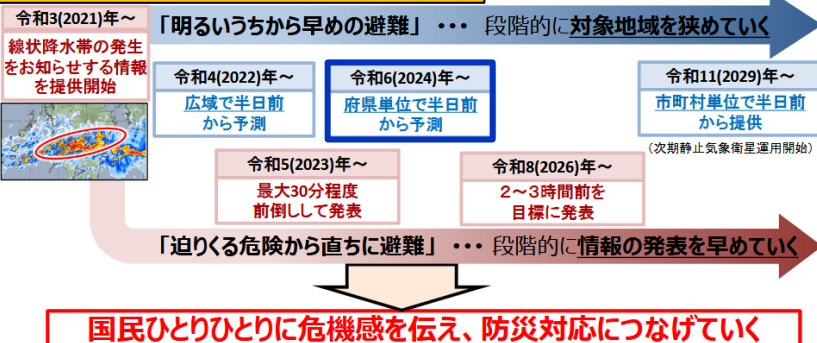
2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	29 リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
2期 内容	線状降水帯による大雨の半日前呼びかけの新たな運用(令和6年5月)
実施主体	気象庁

【対策概要】

線状降水帯による大雨の半日前呼びかけの新たな運用(令和6年5月)

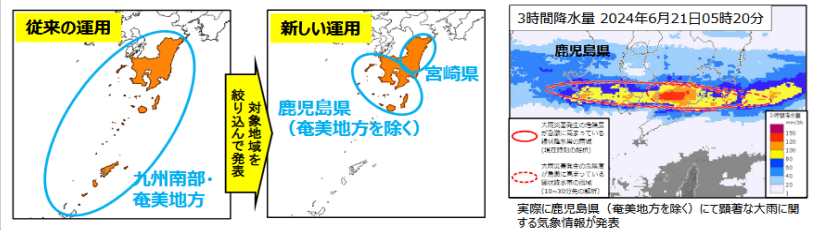
⇒ 発表単位を地方予報区単位から府県単位へ変更。その予測実績を検証し公開。

A 線状降水帯関連情報の改善計画



B 府県単位に絞り込んで発表した事例(令和6年6月)

2024年6月鹿児島県(奄美地方を除く)・宮崎県に線状降水帯の呼びかけが半日程度前から実施された事例



6月20日～21日	九州南部・奄美地方	宮崎県	線状降水帯は発生せず	呼びかけを実施	約80ミリ
6月21日	九州南部・奄美地方	鹿児島県(奄美地方を除く)	線状降水帯が発生	呼びかけを実施	約150ミリ

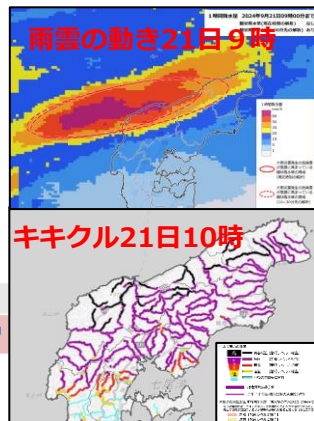
* 富山県では、R6年出水期における発生・呼びかけ事例共になし

C 半日前呼びかけの検証結果(適中率・捕捉率)

府県単位でのとりまとめ結果	運用開始前の想定 (令和5年のデータから検証)	令和6年 (11月30日時点)
線状降水帯の発生「あり」のうち 線状降水帯の発生「あり」	25%程度 (4回に1回程度)	適中率(高いほうが良い) 約10% (81回中8回)
線状降水帯の発生「あり」のうち 線状降水帯の発生「あり」	50%程度 (2回に1回程度)	捕捉率(高いほうが良い) 約38% (21回中8回)

* 令和6年度から「適中率」、「捕捉率」(=100-「見逃し率」)を用いて実績を公表する方針に変更

結果: 令和6年は適中率・捕捉率共に運用開始前の想定を下回る
石川県の線状降水帯(9月21日)など、小規模の事例が多く予測が難しかった



➤ 線状降水帯発生時の呼びかけを行った81回中、線状降水帯の発生「あり」は8回であるが、それ以外にも、
・3時間降水量が100mm以上となったのは27回
あることから、この呼びかけが行われたときには、大雨災害への心構えを一段高めていただくことが重要である。

○今後の取り組みに関する情報

・線状降水帯予測精度向上に向けた技術開発・研究の取組について
https://www.jma.go.jp/jma/press/2412/25c/SLMCS_20241225.html
<https://www.jma.go.jp/jma/press/2412/27a/07kettei.pdf>

R6年度呼びかけ81事例の内容は、以下をご参照ください。<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jirei/index.html#d>

2期項目 No	IV 情報伝達、避難計画等に関する取組
2期 カテゴリ	29 危険レベルの統一化等による災害情報の充実
2期 内容	防災気象情報全体の体系整理 (令和8年度出水期開始予定)
実施主体	気象庁

【对策概要】

「防災気象情報に関する検討会」による防災気象情報全体の体系整理の最終とりまとめ公表（令和6年6月）
富山气象台では、市町村向けに気象情報新体系整理に関する概要説明会をリモートにて開催（令和7年2月）

警戒レベル相当情報の体系整理（洪水・浸水の例）

現状

見状

洪水に関する情報				洪水予報河川・水位周知河川 以外の河川	大雨浸水に 関する情報
分類	洪水予報河川	水位周知河川			
河川数	429河川	1,774河川		約20,000河川 ^{※1}	—
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	河川事務所または都道府県	気象台	気象台	気象台
発表単位	河川ごと	河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと
対象とする 現象	外水氾濫	外水氾濫	外水氾濫 潜水型の内水氾濫	外水氾濫 潜水型の内水氾濫	内水氾濫による浸水 (外水氾濫による浸水 ^{※2})
発表指標	【2～4相当】 水位（実測・予測） 【5相当】 実現象（確認）	【2～4相当】 水位（実測のみ） 流域雨量指数 表面雨量指数 （解析・予測）	流域雨量指数 表面雨量指数 （解析・予測）	流域雨量指数 表面雨量指数 （解析・予測）	表面雨量指数 (流域雨量指数 ^{※2}) (解析・予測)
情報 名称	5相当	氾濫発生情報	氾濫発生情報		【5相当】大雨特別警報 (浸水害) ^{※2}
	4相当	氾濫危険情報	氾濫危険情報		
	3相当	氾濫警戒情報	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（浸水害） 大雨注意情報
	2 (相当)	氾濫注意情報	氾濫注意情報	洪水注意情報	警戒レベル相当情報 としての位置づけなし

改善案

改善案		洪水に関する情報		大雨浸水に関する情報 (洪水予報河川・水位周知河川以外 (その他河川)の洪水に関する情報を含む)	
分類	洪水予報河川	水位周知河川		—	
河川数	429河川	1,774河川		—	
発表主体	河川事務所または 都道府県と気象台	関係機関が協力を発表		気象台	
発表単位	河川ごと	河川ごと		市町村ごと	
対象とする 現象	外水氾濫	外水氾濫		内水氾濫による浸水 (浸水型の内水氾濫も含む) その他河川の外水氾濫	
発表指標	〔2～4相当〕 水位 (実測・予測) 〔5相当〕 実現象 (確認)	〔2～4相当〕〔流域雨量指数※3〕 水位 (実測のみ) (解析・予測)		表面雨量指数 流域雨量指数 (解析・予測)	
情報名称	5相当	レベル5 氾濫特別警報		レベル5大雨特別警報	
	4相当	レベル4 氾濫危険警報		レベル4大雨危険警報	
	3相当	レベル3 氾濫警報		レベル3大雨警報	
	2 (相当)	レベル2 氾濫注意報		レベル2大雨注意報	
	1相当	レベル1 氾濫注意		レベル1大雨注意	

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

【洪水】氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする。

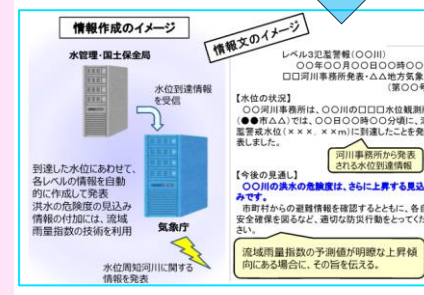
①洪水の情報改善

- ・ 5段階の警戒レベルを基本とする。
 - ・ 指定河川洪水予報については、従来と変更なし。
 - ・ 洪水警報・注意報の発表は市町村毎では行わず、河川毎に発表。
 - ・ 水位周知河川は、これまで河川事務所・都道府県から提供してきた水位到達情報に、気象庁の流域雨量指数の見通しを自動処理で付加し、共同で情報発表。
- * 運用当初は国管理水位周知河川のみ。

②浸水の情報改善

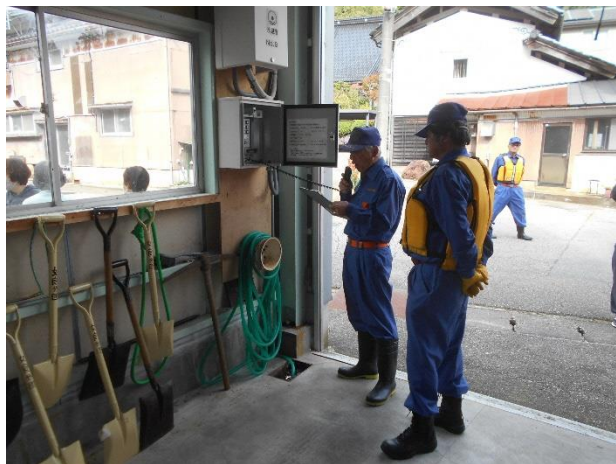
現状：
内水氾濫による浸水のみ

改善案：
洪水予報河川・水位周知河川以外の河川の**外水氾濫も**
内水氾濫とあわせて大雨浸水に関する情報の対象に



2期項目 No	Ⅲ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
2期 カテゴリ	23 住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
2期 内容	自主防災会による防災訓練支援、防災資機材の購入費用補助
実施主体	各地区自主防災会および地域住民

番号	地区名	訓練想定	実施日	参加者(人)	主な訓練内容
1	朝日丘地区	水害・洪水	9/1	50	避難訓練、避難所開設・運営訓練、 防災行政無線取扱訓練、非常食配布訓練
2	明和地区	水害・土砂	9/1	30	避難訓練、避難所開設・運営訓練、 防災行政無線取扱訓練、非常食配布訓練
3	碁石地区	水害・土砂	9/13	80	避難訓練、避難所開設・運営訓練、 防災行政無線取扱訓練、非常食配布訓練
4	女良地区	水害・土砂	10/27	80	避難訓練、避難所開設・運営訓練、 防災行政無線取扱訓練、非常食配布訓練
5	布勢地区	水害・土砂	11/17	120	避難訓練、避難所開設・運営訓練、 防災行政無線取扱訓練、非常食配布訓練



防災行政無線取扱訓練



避難所運営訓練



要配慮者避難支援訓練